



第1回コンテスト（2025年度）の様子



エントリーフォームはこちら

スマートフォンで読み取ってください

高校生ビジネスアイデア コンテスト 2026

HIGH-SCHOOL BUSINESS IDEA CONTEST 2026

テーマ：ふるさと納税の返礼品開発

第2回 大崎市内の高校生 15チーム程度・約50名

高校生ビジネスコンテスト実行委員会 / 2026年9月

■ 理念・ミッション・ビジョン

1000のビジネス実行委員会の最上位にある考え方

OSAKI 1000 BUSINESSES



理念

事業創造を通じて
豊かな大崎を実現する。



ミッション

スタートアップエコシステムを
おおさきに根付かせる。



ビジョン

おおさきから10年以内に
上場企業を輩出する。

高校生ビジネスアイデアコンテストは、スタートアップエコシステム形成の入口です。
次代の人材を育てます。

■ なぜ今、このコンテストが必要か

地域・学校・高校生それぞれが抱える課題を整理します。

OSAKI 1000 BUSINESSES

地域

事業承継と担い手の確保が課題

事業を継ぐ人と、新しい仕事を生み出す人をどう育てるかが、地域産業の課題になっている。

学校

学びが校内で完結しやすい

探究学習は広がったが、外部の大人や実社会とつながる機会が限られ、「調査・発表」で終わりやすい。

高校生

地域の可能性が見えていない

どんな仕事や人がいて、何ができるのかを知らないまま、進路を選ぶことになりがち。

▶ 共通するのは、地域の大人や仕事と出会い、自分のアイデアを試してみる「実践の機会」が地域に少ないこと。

■ このコンテストが担うこと

出会い・実践・伴走を通じて、挑戦できる地域の土台をつくります。

3つの役割



出会いをつくる

経営者・地域事業者・大学生と出会い、知らなかった仕事や価値観に触れる。



試す場をつくる

アイディアを考えて終わりにせず、メンターやチューターとの対話を通じて、実現への道筋を考える。



支える関係をつくる

挑戦を面白がり、伴走する大人と仕組みを地域側に育てる。

出会い・実践・伴走が積み重なることで、挑戦する若者と、それを支える人材・関係性・文化が地域に育ちます。

■ 高校生が得る学び

人や仕事と出会い、試し、対話する経験が、将来の選択肢を広げます。

OSAKI 1000 BUSINESSES

人や仕事と出会う



自分のアイデアを試す



好き・得意・問いに気づく



将来の選択肢が広がる

◎ 他コンテストとの差別化

テーマ：ふるさと納税の返礼品開発

教育・行政・民間が連携し、学びから商品化の可能性検討まで伴走する。



■ 開催概要

OSAKI 1000 BUSINESSES



名称・テーマ

高校生ビジネスアイデアコンテスト2026
(第2回)

テーマ：ふるさと納税の返礼品開発



対象・募集規模

大崎市内に在住、または通学している高校生

15チーム程度 / 約50名
個人またはチームで応募



主催・運営

高校生ビジネスコンテスト実行委員会
(おおさき1000のビジネス実行委員会)

実行委員長：菊地 航平
担当：草刈 宏明、小玉 仁志



連携

大崎市／おおさき産業推進機構／日本政策金融公
庫／株式会社SENBIZ／三幸学園（小田原短期大学
）／上智大学（調整中）



会場

大崎市役所「パタ崎さん家」

開始：13:00 / 所要時間：2～3時間（予定）



育成プログラム

4つの専門講義＋全5回のメンタリング

原則として参加15チーム全てが全回に参加し、
ファイナルピッチへ進みます

※ 応募が15チームを超えた場合のみ、プログラム開始前に書類選考を実施する可能性があります。育成期間中に順位による脱落は設けません。

■ 参加者へのミッションと評価方針

OSAKI 1000 BUSINESSES

◆ ミッション



あなたは、大崎の魅力と可能性を、全国へ届ける起業家です。
地域資源から、全国の寄附者にも選ばれるふるさと納税返礼品を生み出してください。

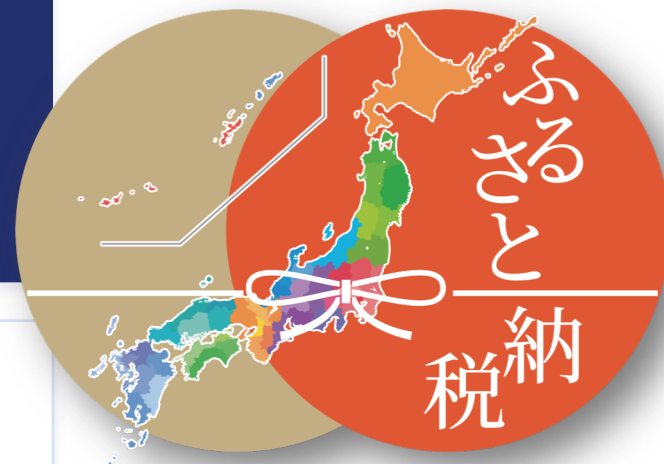
最重要のビジネス判断軸

全国の寄附者から、返礼品として選ばれる理由があるか。

審査で重視する視点

- | | | |
|---------------|--------------|----------------|
| ① 大崎らしさ・地域貢献性 | ② 寄附者ニーズ・市場性 | ③ 独自性・差別化 |
| ④ 実現可能性 | ⑤ 収益性・継続性 | ⑥ 地域事業者との連携可能性 |

※ 評価項目の配点は関係者と調整中です。



■ 4つの専門講義

制度・ビジネス・デザイン・金融経済を、それぞれの専門機関・実務家が担当します



大崎市 市民協働推進部 政策課

ふるさと納税の仕組みと、返礼品づくりの考え方（仮称）

ふるさと納税の制度と大崎市の取組を知り、返礼品を考えるための基礎を学びます。

- ・ ふるさと納税の基本的な仕組み
- ・ 大崎市の取組と返礼品事例
- ・ 寄附者から選ばれる返礼品の視点
- ・ 返礼品化までの流れと基本事項

実施日：2026年10月24日（土） / 協力依頼予定・調整中



日本政策金融公庫 東北創業支援センター

ビジネスアイデアの考え方と発想法（仮称）

身近な「不」から課題を見つけ、顧客に届く価値を考えます。

- ・ 自ら考え、行動する力（アントレプレナーシップ）
- ・ 顧客のニーズと課題発見
- ・ 顧客・課題・提供価値・解決策の整理
- ・ ワークによるビジネスアイデアの具体化

実施日：2026年10月24日（土）



三幸学園／株式会社カラビナ

身近にあるデザイン ～デザインの本質を学ぶ～

デザインは見た目を整えることではありません。ふるさと納税を題材に、課題発見からアイデアを形にするまでを体験します。

- ・ デザインってなに？
- ・ 地域の課題や魅力を見つけよう
- ・ ふるさと納税で地域を元気にするには？
- ・ ブレインストーミング／アイデアの発表・共有

講義＋アイデアソン（約3時間）／2026年11月14日（土）
講師：峯岸 和男（株式会社カラビナ 代表取締役）



※ 株式会社カラビナは、三幸学園の講師が代表を務める企業です。



株式会社SENBIZ

お金と商品から紐解く金融・経済

進学や就職を迎える高校生に向けて、身近な商品とお金から金融・経済を学ぶイントロダクションです。

- ・ 商品はどう作られる
- ・ お金（Money）の役割
- ・ 事業って何だろう
- ・ 金融・経済への扉

実施日：2026年12月19日（土） / 講師：鹿野 太一



■ 地域の実務家が伴走するメンター体制

5つの島に、固定メンターを1名ずつ配置します（メンター計5名）

OSAKI 1000 BUSINESSES



草刈 宏明

ハイフィールド税理士法人
代表社員

公認会計士/税理士
会計・税務・経営支援



狩野 嵩大

株式会社美装社
代表取締役

屋外・屋内サインの企画、
デザイン、設計、施工
商品の見せ方



関 慎太郎

フォーユーシステム株式会社
代表取締役

DX・AI活用
地域企業の業務変革支援



菊地 航平

SHIPS INT'L株式会社
代表取締役

Web制作、デザイン、
ブランディング



小玉 仁志

大崎市議会議員

事業経営、地域密着型経営支援
地域経済エコシステム

■ メンタリングについて

全4回。学び合う仲間としてアイデアを磨きます（各回約60分）

OSAKI 1000 BUSINESSES

島 1	島 2	島 3	島 4	島 5
3チーム	3チーム	3チーム	3チーム	3チーム
固定メンター 1名	固定メンター 1名	固定メンター 1名	固定メンター 1名	固定メンター 1名

全15チーム / 5島 / 1島あたり3チーム / 固定メンター計5名

各回の進め方

- 1 チェックイン
- 2 各チーム3分の進捗共有
- 3 メンターとの対話
- 4 チーム同士の意見交換
- 5 次回までの行動決定
- 6 振り返り

メンターの役割

- ・ 高校生の考えを聞く
- ・ 本質的な問いを返す
- ・ 顧客や市場の視点を伝える
- ・ 実現性や収益性について助言する
- ・ 地域事業者や専門家につなぐ
- ・ 高校生自身の意思決定を支える
- ・ 行動を促す
- ・ 事業を進める上でのコミュニケーションのフォロー



全日程の会場は大崎市役所「パタ崎さん家」

講義がある日は、メンタリングとは別に専門講義・グループワークを実施します。定例日以外にも、必要に応じて相談できる体制を整えます（申込方法は調整中）。

■ 年齢の近い大学生が、対話と挑戦を支える。

上智大学生がチューターとして参加予定です（人数・参加日・参加方法は調整中）

OSAKI 1000 BUSINESSES

アントレプレナーシップ養成講座に参加する上智大学の学生が、チューターとして高校生の活動に加わります。



アイデア整理・発表準備

答えを教えるのではなく、問いを一緒に考え、
アイデアの整理や発表準備を支援します。



進路や大学の学びも交流

大学での学びや進路についても交流。
オンラインでの相談も検討中です。



参加人数、参加日、交通費、オンライン支援の方法は調整中です。

■ 全体スケジュール

4つの講義と4回のメンタリングを経て、ファイナルピッチと次の挑戦へ。

OSAKI 1000 BUSINESSES

全日程共通 | 会場：大崎市役所「パタ崎さん家」／13:00開始／所要2～3時間（予定）

2026年
10月24日（土）

大崎市政策課「ふるさと納税の仕組みと、返礼品づくりの考え方」（仮称）
日本政策金融公庫「ビジネスアイデアの考え方と発想法」（仮称）／第1回メンタリング

制度と大崎市の取組を学び、顧客・課題・提供価値・解決策を整理して、
返礼品アイデアづくりを開始する。

2026年
11月14日（土）

三幸学園「身近にあるデザイン ～デザインの本質を学ぶ～」
講義＋アイデアソン（約3時間）

課題発見からアイデアを形にするまでを体験し、選ばれる理由と伝え方を考える。

2026年
12月19日（土）

株式会社SENBIZ「お金と商品から紐解く金融・経済」／第2回メンタリング

商品とお金の関係から、事業として成り立つかを考える。

2027年
1月9日（土）

第3回メンタリング・商品企画具体化

製造、販売、パッケージ、返礼品としての実現性を整理する。

2027年
1月30日（土）

第4回メンタリング・模擬発表

事業計画と発表資料を完成させる。

2027年
2月21日（日）

ファイナルピッチ

発表・審査・講評・表彰／全チームへの言葉によるフィードバック

2027年
3月中旬

おおさき創業フェスタ

商品化へ進んだチームによる販売／来場者との対話／売上・反応・意見の検証

■ 高校生が安心して挑戦できる運営体制

保護者承諾と学校との情報共有について



保護者承諾

- ・ 未成年者は保護者の参加承諾を必須とする
- ・ 参加者の住所、学校、学年を登録
- ・ 保護者氏名、連絡先、緊急連絡先を登録
- ・ 写真・動画の撮影及び広報利用について確認
- ・ 個人情報の取扱いについて説明
- ・ 遠方移動を実施する場合は別途承諾を取得



学校との情報共有

学校と連携して参加する場合

- ・ 担当教員名と連絡先を登録
- ・ 主催者から学校にも情報共有

個人・任意チームとして参加する場合

- ・ 主催者は参加者と保護者へ直接連絡
- ・ 学校への報告は生徒側で行う

参加形態にかかわらず、高校生が安心して挑戦できる環境を整えます。

■ 受賞をゴールにせず、次の挑戦へつなげる。

賞金と商品化支援は、別のものとして整理します



賞金

最優秀賞（1組） 10万円

優秀賞（1組） 5万円

特別賞（1組） 3万円

努力賞（1組） 2万円

賞金総額 20万円



商品化支援

- ・ 賞金とは別の支援として整理
- ・ 商品化を希望するチームを対象とする
- ・ 行政や関係機関の要望を押し付けない
- ・ 参加者と保護者の意思を尊重する



受賞後ミーティング

受賞者、必要に応じて保護者、担当教員を交え、以下を確認します。

- ・ 今後の希望
- ・ 賞金の受取方法
- ・ 商品化への意思
- ・ 支援内容
- ・ 行政・事業者との連携方法

■ 審査員（候補）

各分野の専門家・実務家に審査を依頼予定です（すべて候補・調整中／順不同）



大崎市長

中島 源陽

日本政策金融公庫



宮城大学 事業構想学群 教授

佐々木 秀之



株式会社Macbee Planet

千葉 知裕



Mazeru Share株式会社

松倉 寛之

※ 審査員は現在調整中の候補です。確定次第、あらためてご案内します。

■ 第1回（2025年度）実績

OSAKI 1000 BUSINESSES

開催実績

2025年度・2026年3月5日 開催／大崎市 （主催：おおさき産業推進機構）

5

参加校

15

登壇チーム

4

受賞チーム

参加校：古川黎明高校・古川高校・古川学園高校・仙台高等専門学校 おおさきベース・松山高校

【第1回の目的】地域の未来を担う高校生が、ビジネスの視点から地域課題と向き合い、地域から新しいビジネスを生み出す取り組みを推進。
勉強会・メンタリングを通じて、若い世代の挑戦を応援。

■ 第1回（2025年度）受賞・表彰の様子

多彩な地域課題解決アイデアが集結し、4組が受賞

OSAKI 1000 BUSINESSES



最優秀賞

本気（マジ）春菊JK

古川黎明高校

春菊しゅむ〜じ〜で
大崎市の農業を盛り上げる



市長賞

AINIMAL

仙台高等専門学校
おおさきベース

動物を識別できる電気柵



特別賞

植物トリオ

古川学園高校

あなたの居場所をLooking



努力賞

草刈 陽輝

古川黎明高校

いざという時、あなたを守る、
レスキューアプリ。

※ 全16チームが登壇。受賞をきっかけに、地域・次世代の挑戦のエコシステムへつなげています。

■ 第1回（2025年度）発表アイデア

全16チームが登壇／本資料では確認できた15チームを掲載

OSAKI 1000 BUSINESSES

- | | | | |
|----------|--|-----------|--|
| 1 | 廃校を憩いの場に
リモコンてんこ盛り／仙台高専おおさきベース | 9 | ボランティア活動×アプリで学生ボランティアを増やす！
黎明高校S探650班／古川黎明高校 |
| 2 | いざという時、あなたを守る、レスキューアプリ。
草刈 陽輝／古川黎明高校 | 10 | 地域の魅力をつたえる『睡眠喫茶』
阿部 寿々歌／仙台高専おおさきベース |
| 3 | Re:Campus Osaki
ろっこく／仙台高専おおさきベース | 11 | Mogutto Furukawa
ふるかわ女子高生PJ／古川黎明高校 |
| 4 | ノウボラ！～はじめよう！農業ボランティア～
関 皐太／仙台高専おおさきベース | 12 | 春菊しゅむ～じ～で大崎市の農業を盛り上げる
本気（マジ）春菊JK／古川黎明高校 |
| 5 | 性別にしばられない進路選択AI『EXPOSS』
H&K産業／古川高校 | 13 | 動物を識別できる電気柵
AINIMAL／仙台高専おおさきベース |
| 6 | あなたの居場所をLooking
植物トリオ／古川学園高校 | 14 | こけしワークショップ
りこひま／古川黎明高校 |
| 7 | 宮城工業学生連携団体
ミテスグ／仙台高専おおさきベース | 15 | MIYAGI ONE
芦田ファミリー／古川高校 |
| 8 | OSAKI ALOE
千葉 晶登／仙台高専おおさきベース | | |



MISSION

スタートアップエコシステムをおおさきに根付かせる。

対話によって問いを育て、実践によって次の一步へつなげる。

若者、企業、行政、金融、教育がつながり、挑戦が次の挑戦を生む地域へ。



エントリーフォームはこちら

スマートフォンで読み取ってください

■ 日程の選定基準

各校の年間予定を参考に、調査と改善の期間を確保した日程設計です

OSAKI 1000 BUSINESSES

全日程共通 | 会場：大崎市役所「パタ崎さん家」／13:00開始／所要2～3時間（予定）

2026年
10月24日（土）

大崎市政策課によるふるさと納税講義（協力依頼予定・調整中）
日本政策金融公庫「ビジネスアイデアの考え方と発想法」／第1回メンタリング

各校の年間予定を参考に、10月後半に初回を設定します。制度と大崎市の取組を学んだうえで、顧客・課題・提供価値・解決策を整理し、同日中に各チームのアイデアづくりを開始できます。

2026年
11月14日（土）

三幸学園「身近にあるデザイン ～デザインの本質を学ぶ～」
講義＋アイデアソン（約3時間）

初回から約3週間を確保し、地域課題や顧客について自分ごととして考える段階です。12月の定期考査が本格化する前に、選ばれる理由・物語・伝え方を整理できます。

2026年
12月19日（土）

株式会社SENBIZ「お金と商品から紐解く金融・経済」／第2回メンタリング

アイデアを形にした商品案が、事業として成立するのかを考えます。原価・販売価格・利益の面から検証するとともに、その背景にある経済社会の変遷と現在について学びます。

2027年
1月9日（土）

第3回メンタリング・商品案の具体化

冬休み中の調査・検討の成果を共有し、早い段階で修正できます。返礼品としての実現性、価格、見せ方などを具体化する時間を確保できます。

2027年
1月30日（土）

第4回メンタリング・模擬発表

1月9日から約3週間、ファイナルピッチまで約3週間あり、「改善期間」と「発表練習期間」の双方を確保できます。各校の予定を確認しながら、最終調整を行います。

2027年
2月21日（日）

ファイナルピッチ（発表・審査・講評・表彰）

各校の年間予定を参考にしながら、4回のメンタリングの成果を発表する時期として設定します。3月中旬のおおさき創業フェスタまで約3週間あり、審査後に商品・価格・表示・販売方法を改善できます。

2027年
3月中旬

おおさき創業フェスタでの販売

審査で終わらず、実際の販売を通じて顧客の反応を確かめます。売上だけでなく、購入者の声を得ることで、学びを社会実装につなげられます。